

平成29年1月～3月期平均及び平成28年平均（遡及改定後） 労働力調査都道府県別結果（モデル推計値）の概要（広島県）の公表について

平成29年5月30日
統計課

※ 総務省統計局は、平成18年度から、労働力調査の都道府県別結果（モデル推計値）を公表しています。
この概要は、平成29年5月30日付けの公表を受け、広島県の結果についてとりまとめたものです。

[完全失業者・完全失業率]

・ 広島県の平成29年1月～3月期平均の完全失業率（労働力人口に占める完全失業者の割合）は2.4%と前年同期（2.9%）に比べ0.5ポイントの低下（図1参照）。都道府県別では低い方から20番目。

また、平成28年平均（遡及改定後）の完全失業率は2.7%と、前年（3.0%）に比べ0.3ポイントの低下。

・ 広島県の平成29年1月～3月期平均の完全失業者数は3万5千人と、前年同期（4万2千人）に比べ7千人（16.7%）の減少（図2参照）。

また、平成28年平均（遡及改定後）の完全失業者数は3万9千人と、前年（4万3千人）に比べ4千人（9.3%）の減少。

[就業者]

・ 広島県の平成29年1月～3月期平均の就業者数は139万7千人と、前年同期（139万人）に比べ7千人（0.5%）の増加（図3参照）。

また、平成28年平均（遡及改定後）の就業者数は141万人と、前年（140万人）に比べ1万人（0.7%）の増加。

